（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	おれんじ柳町

公表日　令和8年　5月　20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		課題の部屋とフリールームを使い分けることで、おおむね問題ないと考えているが学齢の高い児童の比率が多くなると若干狭く感じることもある。	?1
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		基準以上の職員数を配置できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	用途別に部屋を分けたり、視覚的にわかるよう配慮している。また、施設内はバリアフリーとなっている。	室内の広さがもう少しほしい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃、感染症の流行時期に限らず消毒を行っている。　フリールーム内もおもちゃで遊ぶ場所、読書やゲームをする場所をゆるく分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	課題の部屋、フリールームと用途ごとに区分けし、必要であれば開放し利用することで空間を有効に使っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		管理者、児童発達管理責任者を中心に、職員への周知、徹底に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		概ね年1回程度の実施を継続できており、保護者のご意見から気づくことも多いと感じている。が難しい点もある	?1
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の終礼、月例の事業所会議にて出た意見について、職員全員で検討、共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		隔月の法人内研修の実施、参加に努めている。また、外部研修への参加も進めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		法人のホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		計画作成時以外でも随時、必要に応じて保護者と連絡を取り合い計画作成につなげている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援計画作成には、児童発達支援管理責任者以外の職員からのモニタリングを実施し計画に反映させている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		計画の書き換えがあった際、全職員が確認するようしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の支援記録の記入を実施、また必要に応じて写真での記録もしている。利用児の作品もこれに当たると考えている。	?2
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		おおむねできている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動については、全職員で相談し企画書の作成、反省点などの記入を行い。マンネリにならないよう且つ利用児が楽しめ、その中で成長や経験を重ねることができるよう活動を立案するよう心掛けている。	?1
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月の活動は利用児に合わせて曜日の工夫をしたり、通う学校の行事等も考慮している。いくつかの活動は毎月開催するなどしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		保護者からの聞き取りで利用児の状況なども考慮し、計画作成を行っている。また5領域にも関連付けた目標設定のもと支援を提供している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	支援開始前は、短時間ではあるが重要なことについての確認をし、当日の役割分担については日報へも記載するようしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		おおむねできている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		おおむねできている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		おおむねできている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		おおむねできている。利用児が積極的に参加し、経験を重ねることを念頭に、地域の資源の活用なども行っている。	?1
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		出来る限り利用児の自己選択を尊重するよう努めている。また、選択肢を用意し利用児自身が自分で考えることができるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		主に児童発達支援管理責任者が出席し、必要であれば管理者・指導員も主席している。	?2
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	体制とるが、機会は多くない。 個々の状況によりサービス担当者会議にて連携をしている。	?2
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者から許可を得て、学校から直接情報共有させてもらうようしている。 各校とも、メールにて連絡がある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	相談支援事業所と保護者から情報を得ている。就学前の機関との情報共有はできていない。	?2
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	移行時の情報提供の実績はない。移行時以外で情報共有の依頼がある場合は対応している。また、情報を求められた場合に対応できるよう準備はしている。	?1
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	1	できていない。	?2
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	放課後児童クラブとの交流はできていない。外出する活動によっては障がいのない子どもと、行った先で一緒になる機会はある。夏休み中に中高生ボランティアの受け入れをしている。他の放デイ事業所との交流が年２回ある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		島田市自立支援協議会のこども部会へ参加している。	?2
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日頃の様子、変化等常に保護者と情報交換をしている。また、新たに取り組む活動などは事前に保護者に細かく情報をいただくようしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		日々の活動の際発見した良い対応方法や、成長が見られたことなどはお伝えし、保護者と共有できるよう努めている。　不定期ではあるが保護者向けの学習会も年に1～２回程度実施している。	?1
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		保護者には契約時に十分な時間を設けていただき。説明をさせていただいている。また、報酬改定や加算の変更があった場合はその都度説明させていただいている。	?1
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		おおむねできている。	?1
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6		おおむねできている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談があった場合は面談時期以外でも随時、相談に応じている。依頼があれば、保護者だけではなく祖父母やきょうだいとの面談も行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2	不定期ではあるが、保護者対象の勉強会の企画、実施をしている。　年に一度程度、事業所を開放し利用児・家族・地域の人が参加できるお楽しみ会を実施している。	?3

の説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情解決のための受付、相談窓口、第三者委員についてのチラシを事業所の目につく位置に掲示している。その旨、契約時に保護者へ伝えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		法人の発行する「うぇるびー通信（月1回発行）」にて事業所のお知らせ、予定などを発信している。またSNSでの活動の様子の発信もしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		最新の注意を払い扱っている。また、職員は雇用時に誓約書の提出、遵守している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		ジェスチャーや、サイン、視覚的にわかる方法などで意思疎通に努めている。また、声掛けや支援で成功した方法などについては、必ず保護者と共有している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	地域の読み聞かせボランティアの方に来ていただいる。年に一度のお楽しみ会の開催時に、地域の方にも声掛けさせていただいる。また、地域の資源の積極的な利用にも努めている。	?2
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	緊急時対応についてはご家族に周知しているがその他については、周知が進んでいない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		おおむねできている。	?2
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用前のアセスメントにて、服薬、発作について確認。服用する薬が変更となった際は保護者より連絡をもらうようにしている。	?1
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		医師の指示書に基づく対応が必要な利用児がいない。アレルギーについては保護者よりリスク対応表の記入をお願いし、それを基に対応している。	?3
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		おおむねできている。	?1
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	3	1	周知はできていない。	?2
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットについては毎日の終礼で確認し合っている。報告があった場合は担当職員が報告書を作成し、全職員で共有したのちファイリングしている。法人内での共有もしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		できている。年に一度、法人内での虐待防止研修を行い、職員は全員参加することができている。	?1
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に身体拘束についての説明をし、ご理解いただいている。身体拘束の原則について研修などを通じ職員への理解を図っている。	?1